

苫小牧市公共交通協議会における地域公共交通確保維持改善事業の概要

事業実施の目的・必要性

目的: 樽前地区における生活交通手段を維持・確保し、地域住民の通院、通学、買物などの日常生活の移動や、地域間幹線系統等との接続による広域的な移動を可能にする。

必要性: 苫小牧市地域公共交通計画において基本理念に掲げる「将来にわたり持続可能な公共交通ネットワークの形成」に向けた取組の一つに位置付けており、住民生活の足を将来にわたり存続させていくために、バス路線網を補完する交通サービスを継続していくことが必要不可欠である。

生活交通確保維持改善計画の目標

1日あたりのバス利用者数

48人/日(令和6補助年度: 令和5年10月～令和6年9月)

バス利用者満足度

88%以上(令和6年度調査)

令和6年度事業概要

系統名: 樽前予約運行型バス

苫小牧市樽前地区及び錦岡地区を運行区域とし、地域内幹線系統(複数市町村にまたがる路線バス)、市内バス路線、JRとの接続を効率的に行い、利用者の広域的移動を可能とする。

地域公共交通の現況

- ・ JR室蘭本線(錦岡駅)
- ・ 道南バス(株)
(市内5路線、錦西営業所)
(登別温泉・苫小牧線、錦岡西)
- ・ 樽前予約運行型バス
(錦岡駅・錦西営業所・錦岡西との接続)

協議会開催状況

令和6年1月15～17日(書面会議) 令和5年第4回協議会を開催
・地域公共交通確保維持改善事業(地域内フィーダー系統)の事業評価(案)について(樽前予約運行型バス運行についての自己評価)

令和6年6月18～24日(書面会議) 令和6年度第1回協議会を開催
・樽前予約運行型バス(樽前ハッピー号)計画申請(案)について

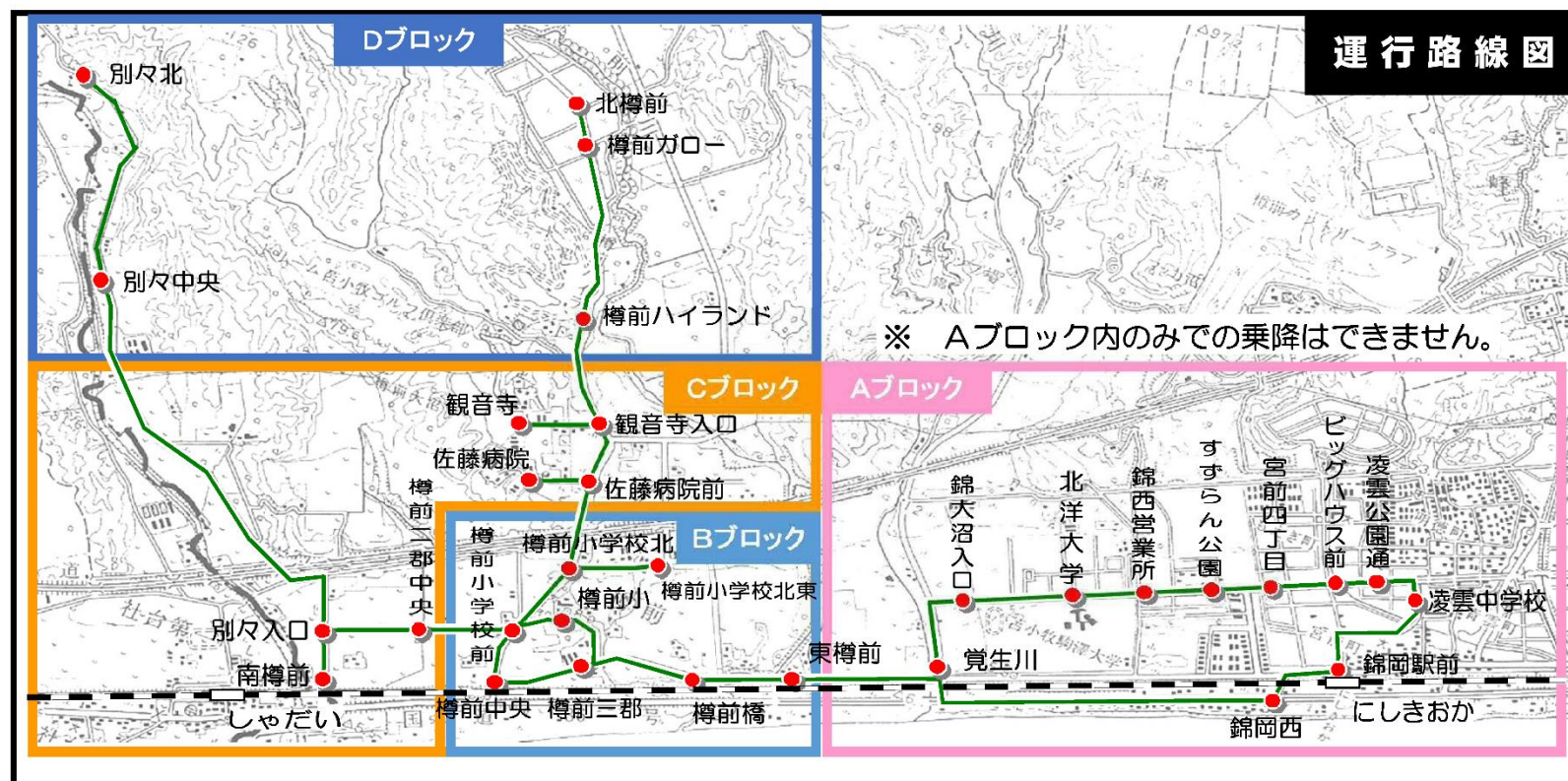
令和7年1月10～16日(書面会議) 令和6年度第3回協議会を開催
・地域公共交通確保維持改善事業(地域内フィーダー系統)の事業評価(案)について(樽前予約運行型バス運行についての自己評価)

令和6年補助度事業の実施状況

1) プロセス、創意工夫

- ・利用者及び町内会などを対象にアンケート調査を実施し、要望や満足度を把握
- ・樽前予約運行型バス利用促進事業(樽前小学校特認児童市内路線定期券半額補助)を令和6年3月末まで実施。
令和6年4月からは教育委員会所管で全額補助を継続。

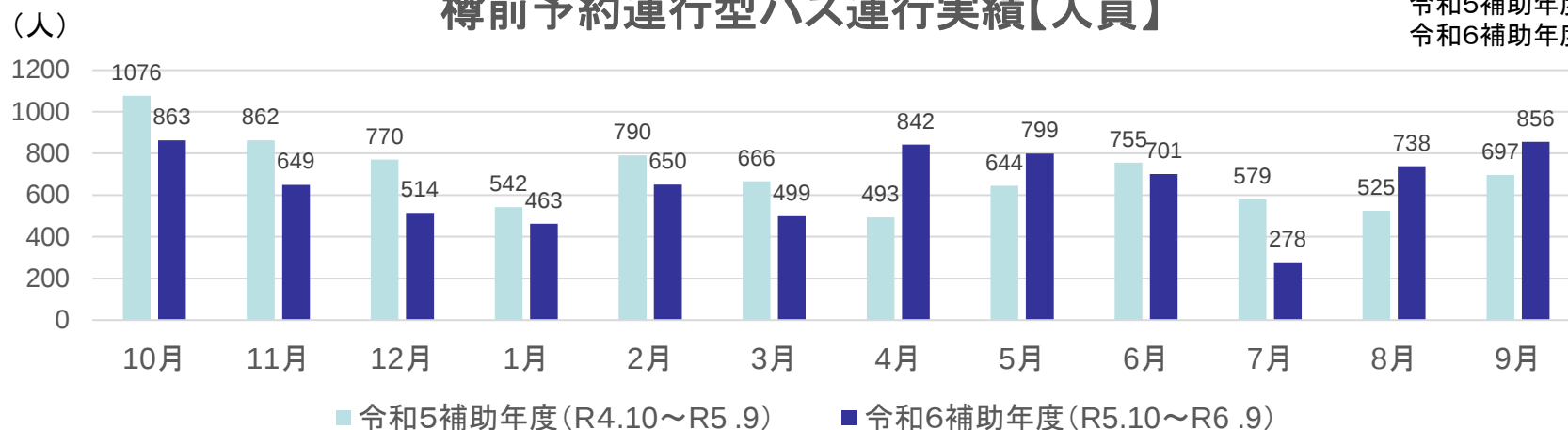
2) 運行系統



3) 利用実績

樽前予約運行型バス運行実績【人員】

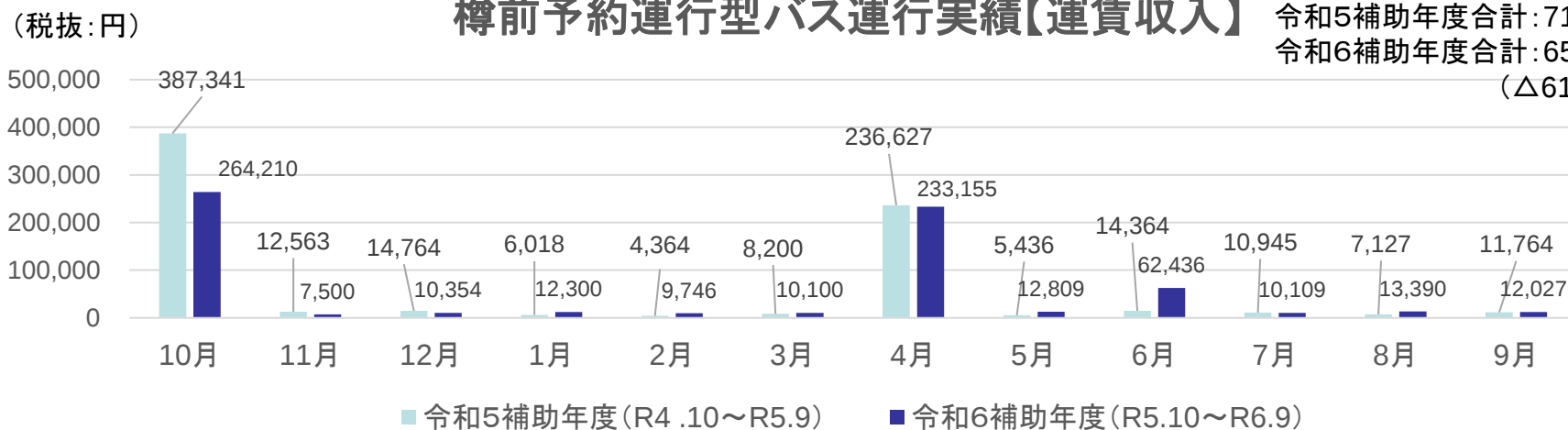
令和5補助年度合計:8,399人
令和6補助年度合計:7,852人
(△547人)



4) 収入実績

樽前予約運行型バス運行実績【運賃収入】

令和5補助年度合計:719,513円
令和6補助年度合計:658,136円
(△61,377円)



5)事業実施の適切性

事業は計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。

6)目標・効果達成状況

●利用者数
目標:48人/日 実績:22人/日

●満足度
目標:88%以上 実績:96%

1日当たりの利用者数については、地域の人口減少や小学校の児童減少などの影響により、目標を達成することができなかったが、令和6年4月からの樽前小学校児童数の増加により、下半期は前年度を上回った。

満足度については、目標を達成した。

7)事業の今後の改善点

・令和6年度に実施したアンケート調査の結果や、町内会、学校等との協議を踏まえ、可能な範囲で運行時刻の調整や運行経路の見直し等を行い、利用者の利便性向上に努め、利用者数増加と満足度向上を図る。

8)地方運輸局等における二次評価結果(案)

運輸局記載欄